

# 令和4年度 岡崎市シビックセンター事業報告書

公の施設名称	岡崎市シビックセンター
施設の所在地	岡崎市羽根町字貴登野15番地
指定管理者	名称：SPS・ト・エネック・ピ・アント・ピ・共同事業体 所在地：東京都江東区豊洲3-2-4 豊洲フォレシア16F 代表者：サントリーパブリシティサービス株式会社 代表取締役 千 大輔
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

## 1 事業の実施状況

### (1) 実施状況

音楽を中心とする芸術文化の振興に関すること

#### ■鑑賞機会の提供

No.	事業名	実施日	入場料金	入場者数	演奏曲目等
1	クローズアップおかざき アンサンブル天下統一2022	6月5日(日)	一般3,500 学生2,000	254	ハイドン：弦楽三重奏曲 変ロ長調 Hob. V:8 モーツァルト：弦楽五重奏曲 第3番 ハ長調 K.515 チャイコフスキー：弦楽六重奏曲 二短調 Op.70「フィレンツェの思い出」
2	エキサイティングステージ NAOTO アコースティック・コンサート	9月11日(日)	一般3,500 学生2,000	369	クライスラー：愛の喜び チック・コリア：スペイン ピアソラ：リベルタンゴ ほか
3	プレミアムコンサートシリーズ クレメンス・ハーゲン×ユリア・ハーゲン デュオ・コンサート	10月2日(日)	一般5,000 学生2,000	193	ハイドン：ソナタ 二長調 Hob.XII:3.5 バリエール：2つのチェロのためのソナタ長調 ポツパー：2つのチェロのための組曲 Op.16 ほか
4	ようこそソコネットシリーズ Just 2 Hours !! 新体感！バリエ音楽の世界	11月6日(日)	一般3,000 学生1,500	348	チャイコフスキー：「くるみ割り人形」 ポロティン：歌劇「イーゴリ公」より「だったん人の踊り」 加藤昌則：Birth...Life... Beautiful... ほか
5	エキサイティングステージ 挟間美帆&デンマークラジオ・ビッグバンド	11月19日(土)	一般5,000 学生2,000	333	挟間美帆：アルバム「イマジナリー・ヴィジョンズ」より ハービー・ハンコック(挟間美帆編)：ドルフィン・ダンス セロニアス・モンク(挟間美帆編)：13日の金曜日 ほか
6	ランチタイムコンサート レミ・ジュニエ ピアノ・リサイタル	11月22日(火)	一般1,500	171	ショパン：バラード 第3番 変イ長調 Op.47、バラード 第4番 ヘ短調 Op.52 ラヴェル：クーブランの墓 ほか
7	クローズアップおかざき アンサンブル天下統一 ゴルトベルク変奏曲	12月3日(土)	一般3,500 学生2,000	270	モーツァルト：アヴェ・ヴェルム・コルプス K.618 J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲 長調 BWV988
8	プレミアムコンサートシリーズ 小山実稚恵 ピアノ・リサイタル	1月28日(土)	一般4,500 学生2,000	331	シューベルト：即興曲 D935 Op.142-2,3、即興曲 D899 Op.90-2 ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第31番 変イ長調 Op.110 シューベルト：ピアノ・ソナタ 第21番 変ロ長調 D960
9	エキサイティングシリーズ ギタリストたちの饗宴	2月5日(日)	一般3,500 学生2,000	367	ポツケリーニ：序奏とファンダンゴ J.S.バッハ：6つの無伴奏チェロ組曲 第6番 二長調 BWV1012より 前奏曲 F.タレガ(サグレラス編)：アルハンブラの思い出 ほか
10	ようこそソコネットシリーズ 幸田浩子&福井敬 デュオ・リサイタル	2月18日(土)	一般4,500 学生2,000	252	ブッチェーニ：歌劇「トウランドット」より「誰も寝てはならぬ」 グノー：歌劇「ロミオとジュリエット」より「私は夢に生きたい」 ヴェルディへの招待 ～歌劇「椿姫」ハイライト～ ほか

11	ようこそコロネットシリーズ ザ・家康クラシック～花のお江戸のクラシックin岡崎～	3月5日(日)	一般3,000 学生1,500	166	八橋検校:六段の調 J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第1番 卜長調 BWV1007より 岩代太郎:Time of destiny(NHK大河ドラマ「徳 徳川三代」 テーマ音楽) ほか
12	こどものためのシリーズ 音楽の絵本	3月19日(日)	おとな2,500 こども1,000	384	ディベルティメント オリーブの首飾り 静かな湖畔 ほか
13	コロネットキャラバン隊 加藤昌則&山本葵 アウトリーチ	11月4日(金)	/	約200	岡崎市立山中小学校4～6年生を対象に実施。11月6日「新 体感!パレエ音楽の世界」出演者による出張コンサート。
14	コロネットキャラバン隊 レミ・ジュニエ アウトリーチ	11月21日(月)	/	約130	岡崎市立広幡小学校6年生を対象に実施。11月22日「ラン チタイムコンサート」出演者による出張コンサート。

## ■参加創造型事業

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容	
1	アンサンブル天下統一 アンサンブル・アカデミー	マスタークラス	8月8日(月) ～13日(土)	¥40,000	28	レジデント・アンサンブルであるプロのアーティスト「アン サンブル天下統一」から技術の指導を受け、一緒に 演奏をするアンサンブルに特化したマスタークラスを 実施した。
		岡崎市在住・在勤者限定ワーク ショップ	8月9日(火)	¥3,000	5	市内在住・在勤者に限定し、アンサンブルの楽しさを 体感するワークショップを実施。「アンサンブル天下統 一」メンバーと一緒にホールのステージで演奏した。
		アンサンブル・アカデミー コンサート	8月13日(土)	一般1,000 学生500	108	マスタークラス受講生による成果発表のコンサートを 実施した。
2	体験!発見!こども力応援プロジェクト ジュニア・アートプロデューサー	11～3月	無料	参加8 入場295	市内在住・在学の小学5～中学2年生の子どもたちが が、計8回の活動を通してプロデューサー業務を体験 し、様々な経験を積みながら協力してひとつのコン サートを創り上げた。コンサートは無料とし、多くの子 ども連れが来場した。	
3	体験!発見!こども力応援プロジェクト きつぷお仕事体験 子どもレセプション	11月6日(日)	無料	2	小学生を対象に11/6の「新体感!パレエ音楽の世 界」公演で、チケットもぎりや・プログラム配布・お客様 案内など、ホールサービスの仕事を体験した。後半は コンサートを鑑賞し、音楽に親しむ機会も提供した。	
4	体験!発見!こども力応援プロジェクト ちびっこ探検隊	3月5日(日)	無料	21	小学生を対象に3/5の「ザ・家康クラシック」公演のリ ハーサルや舞台袖、ピアノ庫など、普段は見ることが できないホールの裏側を見学した。	

## ■地元音楽家支援・育成事業

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	ランチタイムコンサート	/	/	/	新型コロナ影響や「どうする家康」関連事業実施のため他 事業と統合・再編し、11/22「レミ・ジュニエピアノ・リサイタル」、 3/5「ザ・家康クラシック」公演として実施した。
2	次世代育成プロジェクト 未来の音楽家シリーズ 辻純佳 ヴァイオリン・リサイタル	3月1日(水)	¥1,000	203	若手演奏家を広く市民に紹介するシリーズとして、岡崎出 身の辻純佳を起用。演奏家には経験を積み世界へ羽ば たくこと、聴衆にはその過程を間近に感じ応援する機会を 提供した。
3	シビックロビーコンサート ①七塔コンサート～輝く音色に願をのせて～ ②0歳からの音楽会♪シビッククリスマスコンサ ート	①7月7日(木) ②12月23日 (金)	無料	①44 ②41	感染症対策を講じ、会場をロビーからリハーサル室第2に 変更して実施した。来場者には気軽に音楽を楽しめる場 を提供し、地元の演奏家には活動の機会を提供した。

## ■コロネット市民音楽フェスティバル

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	コロネット市民音楽フェスティバル2022	9月16日～ 9月22日	各回¥1,000上限	参加団体 4 入場者 399	地元演奏家に発表の機会を提供し、クラシックをはじめとする様々なジャンルの演奏家が工夫を凝らした演奏会を開催した。

## ■地域ネットワーク事業

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	地域ネットワーク事業 シビック エキナカノコンサート ミニ歌唱ステージ	3月16日(木)	無料	100	岡崎駅に設置された「ストリートピアノ」を活用し、駅の利用者に気軽に楽しんでもらえるコンサートとして開催。岡崎駅前の賑わいづくり活動をしている「出合いの駅おかざき」主催イベントと同時開催、また出演者には地元出身で、過去のイベント参加者の一般市民を起用した。

## ■防災関連事業

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	防災啓発コンサート 避難訓練コンサート	9月8日(木)	無料	102	愛知県警察音楽隊の演奏中に地震が発生したことを想定し、地震発生時のお客様誘導から館内の安全確認までを行った。訓練後はジャズやポップスなど親しみやすい演奏で参加者にコンサートをお楽しみいただいた。

## ■その他提案事業

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	まちなかコンサート シビック エキナカノコンサート ストリートピアノde コンサート	3月17日(金)	無料	150	地元出身の演奏家を起用し、幅広い市民が楽しめるプログラムをお届けした。会場は、岡崎駅に設置された「ストリートピアノ」を活用し、岡崎駅前の賑わいづくり活動をしている「出合いの駅おかざき」主催イベントと同時開催して、賑わいを創出した。

## 交流広場等を利用した地域のまちづくり支援に関する業務

### ■交流広場事業・花植え業務

No.	事業名	実施日	参加料金 入場料金	参加者数 入場者数	事業内容
1	シビックセンター 夏祭り	7月23日(土)、 24日(日)	無料	10,500	5年ぶりの開催。シビックセンターは事務局として、主催である地元有志による実行委員会と連携しながら感染拡大防止策を講じて制作を進めた。
2	シビック ワールド・フェスティバル	10月22日(土)	無料 (一部イベント 有料)	1500	国籍や民族などの異なる市民が相互理解を深めるきっかけとなることを目的とし、民族楽器や舞踊、言語などを鑑賞・体験できるイベントとして実施した。
3	シビック 冬の体験祭	12月17日(土)	無料 (一部イベント 有料)	880	大河ドラマ「どうする家康」放送開始を前に、家康公と江戸時代をテーマにした広場事業を開催することで盛り上げを図った。「徳川家康公ジャズ組曲」を作曲した守屋純子氏によるコンサート、江戸時代から続く岡崎の伝統産業や伝統楽器を体験するコーナーなどで構成した。
4	シビック スプリングフェスタ	3月25日(土)	無料	1,500	「言葉」と「音楽」をテーマに、様々な体験・創造をしながら、参加者同士の交流を深めてもらう。また、一部延期となっていたR3年度事業「みんなの夢 叶えます！」の合唱ステージも同時開催した。
5	花植え	5月18日(水) 9月26日(月) 12月16日(金)	無料		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域の方と相談の上、今年度は職員のみで実施した。

## ■ディスプレイの実施

No.	展示テーマ	日程	事業内容
1	窓ガラスアート「開花」	12月17日(土)～継続中	地元高校の岡崎城西高等学校美術部にデザインから制作までを依頼し、シビックセンター1階音楽情報コーナーの窓ガラス(縦1.8m×横3.6m)に「徳川家康公」と「岡崎」をテーマにした絵画を水性ペンで描いて展示した。
2	古紙のお花のフォトスポット	3月19日(日)～25日(土)	SDGsの観点から、残った公演チラシを活用して立体感のある花を制作。ラティスに大小様々な大きさの花を飾り付けし、来館者に写真を撮ってもらえるようにフォトスポットを設けた。

### (2) 事業実施に対する自己評価

指定管理第3期の事業計画書に基づき、市民の芸術文化振興と地域の賑わい創出を図るため、音楽事業を実施した。本年は新型コロナウイルスの影響が段階的に緩和したため、海外アーティストの公演を実現するなど、市民へ質の高い鑑賞事業を提供できた。

大河ドラマ「どうする家康」放送開始にあわせて、広場事業、鑑賞公演およびロビーディスプレイでシビックセンターのオリジナル企画を実施し、市民の気運醸成に貢献する事業を展開した。また市内小・中学生がコンサートの企画・制作にチャレンジする参加創造型事業を新たに立ち上げるなど、シビックセンターのハードおよびJVの持つ強みを活かした取り組みを実施した。

### 音楽を中心とする芸術文化の振興に関する事業 鑑賞機会の提供

レジデントアンサンブルである「アンサンブル天下統一」は6月に開催した9回目の定期公演に加え、年末の風物詩として根付かせていくことを念頭に置いた12月「ゴルトベルク変奏曲」の2公演を実施。定期公演ではメンバー3人が信頼を置く若手奏者を迎え、三重奏、五重奏、六重奏と異なる編成のアンサンブルの魅力をお届けした。「ゴルトベルク変奏曲」ではバッハの大作を3人の濃密なアンサンブルでお楽しみいただき、モーツァルト作曲「アヴェ・ヴェルム・コルプス」で市内アマチュア合唱団と共演するステージを設けることで市民参加の機会を創出した。

9月に開催した「NAOTOアコースティック・コンサート with 榊原大」では、ポップス界でも知名度の高い人気ヴァイオリニストを招き、新規顧客の取り込みを図ることでホール存在を広く周知した。

10月にプレミアムコンサートとして実施した「クレメンス・ハーゲン×ユリア・ハーゲン デュオ・コンサート」は、世界的奏者の招聘公演を実現。あまり上演機会の多くないチェロ2本でのコンサートにより、室内楽の幅広い魅力と上質な音楽に触れる機会を提供した。

11月には3本の鑑賞事業と2本の学校アウトリーチを実施。「新体感！バレエ音楽の世界」は作曲家・ピアニストとして活躍する加藤昌則がプロデュースするSPSオリジナル企画。実力派アーティストによる演奏と東京シティ・バレエ団ソリストによるバ

レエの実演を交えながら、ビギナーでもバレエの歴史や楽しみ方を知ることができる公演を実施した。「挟間美帆&デンマークラジオ・ビッグバンド」は、グラミー賞ノミネートの作曲家・挟間美帆とデンマークより招聘したビッグバンドによるジャズ公演。来日ツアー中、岡崎だけの特別プログラムで開催し、クラシック以外の音楽ファンに向けてもホールの存在を広く周知する機会となった。「ランチタイムコンサート レミ・ジュニエ ピアノ・リサイタル」は、平日の昼間に気軽に音楽を楽しむ機会を提供することを目的に、世界で活躍する若手フランス人ピアニストによる公演を実施した。また、市立山中小学校と市立広幡小学校にて、それぞれ鑑賞事業出演者によるアウトリーチ公演を実施した。各学校の要望を反映させ、児童に対するキャリア教育の一環として演奏者自身の体験談などを織り交ぜることで、児童には将来を考えるきっかけだけでなく、夢や希望を提供することができた。

1月に実施した「小山実稚恵 ピアノ・リサイタル」は、人気、実力ともに日本を代表するピアニストによる公演。シューベルトの即興曲とベートーヴェンのピアノ・ソナタのプログラムで、充実した上質な公演を提供した。

2月は2本の鑑賞事業を実施。クラシックギター界を代表するトップ・ギタリスト4人が一堂に会する「ギタリストたちの饗宴」では、デュオからカルテットまで、クラシックギターの魅力や醍醐味を存分にお楽しみいただいた。「幸田浩子&福井敬 デュオ・リサイタル」は、新型コロナウイルスの影響で中止となった公演の代替として実施。オペラ界のトップに立つ2人が揃う稀有な機会、圧倒的な歌の魅力をお届けした。

3月は毎年恒例となっているファミリー向けの人気公演「音楽の絵本」を開催。一流アーティストが動物に扮して演奏し、客席と舞台が一体となって子どもも大人も音楽を楽しめる機会を提供した。

## **参加創造型事業**

3回目となる「アンサンブル天下統一 アンサンブル・アカデミー」は、今年度より開催期間を6日間に延長して実施。アンサンブル天下統一の3名によるアンサンブルに特化したマスタークラスには全国から多数の応募があり、書類・音源審査を行い、岡崎市出身者を含む4つのグループと18人の個人受講の合計28人の若手演奏家が受講した。受講者と講師がアンサンブルを組み、全15グループがアンサンブルに特化したレッスンを受けた。レッスンは技術の向上を目指すだけでなく、アンサンブルの音楽の作り方や音楽性を講師から学び、アンサンブルの楽しさを講師と共有する貴重な場となった。最終日には受講の成果を発表するコンサートを実施し、来場者に好評をいただいた。また、今回初めて実施した市内在住・在勤者向けワークショップは、地元中学生を含む2組と高校生1組の計3組5名が受講。プロの演奏を間近で聞きながら一緒に演奏し、アンサンブルの楽しさを体感していただいた。

11月から3月にかけて「ジュニア・アートプロデューサー」を実施した。市内在住・在学の小学5年生～中学2年生を対象とし、公募により8人が参加。8回の活動を通してコンサートのプロデューサーの仕事を体験し、様々な経験を積みながら協力してひとつのコンサートを創りあげた。コンサートの企画・制作のノウハウを習得することを目

め、3月に開催したコンサートでは多くの市民に企画の意図や施設の取り組みを伝えることができた。

「子どもレセプション」および「ちびっこ探検隊」は、それぞれ鑑賞事業と同時開催した。「子どもレセプション」ではチケットもぎりやプログラム配布、お客様案内などホールサービスの仕事を体験。「ちびっこ探検隊」は、リハーサルや舞台袖、ピアノ庫など、普段は見ることができないホールの裏側を見学し、ホールやコンサートを身近に感じていただく機会となった。

### **地元音楽家支援・育成型事業**

地元音楽家支援・育成型事業として、本年は2事業3公演を実施した。ランチタイムコンサートは2公演を計画していたが、新型コロナウイルス影響や「どうする家康」関連事業実施のために統合・再編。「どうする家康」関連事業として「ザ・家康クラシック」を、ランチタイムコンサートとして「レミ・ジュニエ ピアノ・リサイタル」を実施した。

3月の「次世代育成プロジェクト」は、岡崎市出身のヴァイオリニスト辻純佳のリサイタルを開催。東京藝術大学大学院に在籍し、令和3・4年度の「アンサンブル天下統一 アンサンブル・アカデミー」も受講し研鑽を積む若手奏者に演奏機会を提供した。新聞取材もセッティングするなどその存在を広く市民に周知することに努めた。

シビックロビーコンサートは感染症対策のため会場をリハーサル室に変更して2回実施した。7月は七夕、12月はクリスマスをテーマにした親しみやすい内容とし、地元で活動する演奏家に演奏機会を提供した。

### **コロネット市民音楽フェスティバル、地域ネットワーク事業、防災関連事業、その他提案事業**

9月に実施したコロネット市民音楽フェスティバルは、本年は4団体が参加した。参加団体の自立した演奏活動を支援するため、参加団体ごとに専任のスタッフを付け、企画制作および当日の接遇の面で、昨年よりもさらにきめ細かなフォローができる体制で実施した。

シビックセンター外に活動の場を広げる機会として、JR岡崎駅に設置されたストリートピアノを活用した事業を3月に2本実施した。地域ネットワーク事業「シビック エキナカ♪コンサート ミニ歌唱ステージ」では過去の主催事業に参加した地元音楽愛好家が出演。まちなかコンサート「シビック エキナカ♪コンサート ストリートピアノ de コンサート」は、岡崎市出身で愛知県立芸術大学卒業のピアニストが「どうする家康」オープニングテーマなどを演奏。いずれも「出会いの駅おかざき」実施のイベントと同時開催し、駅利用者に気軽に音楽を楽しんでいただく場となった。

防災関連事業として9月に「避難訓練コンサート」を実施。岡崎警察署と連携し、愛

知県警察音楽隊の演奏中に地震が発生した想定で、客席内での避難誘導や安全確認を行った。訓練後は警察音楽隊の演奏をお楽しみいただいた。

## **交流広場等を利用した地域のまちづくり支援に関する業務** **交流広場事業・花植え業務**

7月の「シビックセンター夏祭り」は台風、新型コロナウイルスによる4年連続の中止を経て5年ぶりに開催。シビックセンターは事務局業務を担い、地元有志による実行委員との連絡調整を重ね、感染症対策と安全管理に配慮して事故なく終了した。

10月の「シビック ワールド・フェスティバル」は、様々な国の文化を体験するというコンセプトで、交流広場でのステージパフォーマンスを含む内容で実施。感染症対策を講じたうえでキッチンカーの出店も再開し、盛況となった。

12月の「シビック 冬の体験祭」は大河ドラマ放送開始を控えたタイミングで、江戸時代から岡崎市に残る伝統産業や和楽器の体験等と、守屋純子氏による「徳川家康公ジャズ組曲」のコンサートで構成し、事業を通じて市民の気運醸成に貢献した。

3月の「シビック スプリングフェスタ」は「言葉と音楽」をテーマにしたコンサートや手話体験、読み聞かせ等で構成。令和3年度の20周年記念事業「みんなの夢叶えます！」で一部実施を延期していた合唱ステージも開催し、持ち越されていた地元合唱団の「夢」を実現した。

年3回実施した花植え事業は、昨年引き続き感染症対策として地域の方のご参加は話し合いの上見合わせ、職員のみで花の植え替えを行った。

## **ディスプレイの実施**

12月より展示を開始した「窓ガラスアート 開花」は、岡崎城西高等学校美術部に依頼し、「家康公と岡崎」をテーマとした窓ガラスアート作品を館内音楽情報コーナーのガラスに制作した。お披露目会の様子が各メディアに取り上げられ、多方面にシビックセンターの取り組みや高校生たちの成果を伝えることができた。市民からの要望も受け、展示期間を延長して現在も展示継続中。また、この取り組みが好評を博したことから、同様の取り組みが市内別施設でも展開されている。

3月に展示した「古紙のお花のフォトスポット」は、終了公演のチラシを活用して立体的な花を作り、館内に展示してフォトスポットとした。ファミリー層が多数来場する「音楽の絵本」「シビック スプリングフェスタ」に合わせて展示したことで、多くの来館者が作品の前で写真を撮る様子が見られた。

## 2 施設の利用状況

### (1) 利用状況

施設名	利用日数	利用可能日数	稼働率(日数)	利用単位数	貸出可能単位数	稼働率(単位数)
コンサートホール	267	312	85.6%	642	929	69.1%
リハーサル室第1	100	320	31.3%	237	970	24.4%
リハーサル室第2	300	325	92.3%	526	975	53.9%
集会室	296	323	91.6%	635	918	69.2%
交流広場	47	340	13.8%	47	340	13.8%

### (2) 利用状況に対する自己評価

R4年度は、前年度までのような新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用自粛や還付、時間制限、人数制限がかかることはなかったが、特に序盤は新型コロナウイルスの影響による団体の活動自粛は続き、利用がなかなか伸びず苦戦した。

上記状況を打開するべく、これまでご利用があった団体（お客様）へ、活動の状況確認と安全対策のアドバイスを含めた活動再開を促す架電を実施した結果、ホール利用のお客様を中心に「お電話をいただいたので、迷っていた発表会を実施しようと思う」というような予約が入り始め回復基調に転じた。

部屋別では、まずコンサートホールの稼働率（日数）は85.6%と目標の75%を上回ることが出来た。しかしながら、上述の通り昨年までの長期間にわたるコロナによる利用時間制限、人数制限等が影響し、利用料収入は前年より伸びたが目標には届かなかった。

コンサートホール以外では、リハーサル室第1の稼働率は31.3%（前年実績33.3%）、リハーサル室第2の稼働率は92.3%（前年実績72.8%）と上述の架電の効果もあってリハーサル室第2は好調であった。ダンスや歌唱などの感染リスクが懸念される利用についても昨年とは異なり、感染症対策をとった上での活動が再開した印象であった。

集会室の稼働率も91.6%（前年実績88.0%）となり、こちらも回復傾向である。

年間を通して、各種団体が少しずつではあるが活動を再開し始めたことと、年度初めからの架電等の営業活動の成果により利用料収入はコロナ前までには至らなかったが、回復傾向にはある。

新型コロナは感染法上5類へ移行されたが、引き続き、利用者へ感染症対策をアドバイスすることと共に、新たな施設の利用方法の提案も行い、市民の文化活動の支援を行っていきたい。

### 3 収支状況

#### (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	委託料収入	精算を伴うもの伴わないもの合算	245,720,094
	利用料金収入		12,979,682
	事業収入	コンサートホール事業 交流広場事業	13,097,300
	その他収入	預かりチケット手数料 公衆電話、コピー代等	4,576,991
収入 計			276,374,067
支 出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、事務費 手数料、修繕費、清掃等委託料 保険料等	232,389,992
	(うち修繕費)		12,178,379
	(うち光熱水費)		41,674,715
	事業費	直接事業に係る経費	34,763,892
	その他	本部経費、租税公課、 退職給与引当金	9,881,374
支出 計			277,035,258
差 引			-661,191

#### (2) 収支状況に対する自己評価

利用料金収入は、前年までの新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴うや利用制限等の影響が残り、予実比 89%と予算を下回ったものの前年より 17.4 ポイント改善した。また、事業収入は、コロナ禍の感染症対策を施しながらも、お客様に支持される公演が多く券売に繋がり、予実比 97.5%と 37.3 ポイントと大きく改善した。支出については、昨年に引き続き収入状況を鑑みて適切に執行した。

精算事業についても以下のとおり、修繕費・水光熱費とも適切な管理を行った。

#### 修繕費

修繕箇所発生時には、共同事業体内で優先度及び工事スケジュール、費用を基に協議を実施した上で岡崎市文化振興課に提案し、計画的に執行した。

#### 水光熱費

エネルギーの使用量は、夜間利用のない日の省エネ対応（夜間施錠）等を行うなどの対策も実施し、年間を通して適切に管理を行った。今年度の貸館は利用率、稼働率とも

向上傾向ではあるが、エネルギーの使用量は前年度と比較すると電気 100%、ガス 92%、水道 118%である。一方で使用料金（電気・ガス・水道計）は、前年比 144%であった。電気・ガスは値上がりが続けているが、引き続き、施設の安全で快適な環境維持と省エネルギーを両立した適正な運転に努める。

## 4 調査結果（アンケート等）

### （1）実施概要

#### ■音楽公演 来場者アンケート

開催日時	公演	鑑賞者数	回収数	回収率
2022年6月5日(日)	アンサンブル天下統一2022	254	170	66.9%
2022年9月11日(日)	NAOTOアコースティック・コンサートwith榊原大	369	234	63.4%
2022年10月2日(日)	クレメンス・ハーゲン×ユリア・ハーゲンデュオ・コンサート	193	114	59.1%
2022年11月6日(日)	Just 2 Hours!! 新体感!バレエ音楽の世界	348	235	67.5%
2022年11月19日(土)	狭間美帆&デンマークラジオ・ビッグバンド	333	195	58.6%
2022年12月3日(土)	アンサンブル天下統一 ゴルトベルク変奏曲	270	121	44.8%
2023年1月28日(土)	小山実稚恵 ピアノ・リサイタル	331	170	51.4%
2023年2月5日(日)	ギタリストたちの饗宴	367	197	53.7%
2023年2月18日(土)	幸田浩子&福井敬 デュオ・リサイタル	252	110	43.7%
2023年3月5日(日)	ザ・家康クラシック～花のお江戸のクラシックin岡崎～ 『六段』とバッハ 時代をつなぐ「弦」と「響」	166	112	67.5%
2023年3月19日(日)	音楽の絵本	384	45	11.7%

### （2）アンケート結果概要

#### 音楽公演 来場者アンケート

本年度の来場者アンケートは、上記 11 公演を対象に、公演来場者の特性、満足度、ニーズを把握して事業に反映させることを目的に実施した。また、上記の公演以外においてもアンケートを実施した。収集した情報をもとに振り返りを行い、企画内容へのニーズの反映と来場者サービスの向上を目指した。

#### 鑑賞者の年代構成

鑑賞者の年代は、60代が27.2%、70代以上が26.9%と多数を占めた。50代が20.0%、40代が10.8%と続き、40代以上が全体の84.9%となった。

### 鑑賞者の居住地

鑑賞者の居住地は「岡崎市内」が最も高く63.3%、次いで「愛知県（その他）」が15.7%、「その他」が7.4%、「名古屋市」が5.6%と続いた。

### 友の会の入会有無・会員内容

友の会会員・非会員は、会員が44.1%、非会員が55.9%であった。「入会している」と回答した方の内訳は「クラシック会員（有料）」が34.8%、ベーシック会員（無料）が57.0%であった。

### 会員内容と鑑賞者の特性

友の会内容と年代の関連性をみると、10代以上では年代が上がるのに比例してシビコ会員が増え、60代では過半数を超える53.6%が会員であった。

友の会入会有無と居住地では、会員の割合が高い順に「岡崎市内」52%、「安城市」45%、「豊田市」43%と続き、近隣市からの来場者が多く入会していることがわかる。

### 鑑賞理由と鑑賞者の特性

鑑賞の理由と鑑賞者の特性（年代、居住地、会員内容）の関連性をみると、いずれの場合でも「出演者がよかったから」が最も高く、「好きなジャンルだから」「プログラムがよかったから」が続いた。

年代と鑑賞理由の関連性は、30代、40代では他の年代と比較して「子どもと一緒に参加できたから」を選ぶ方が多い。居住地と鑑賞理由の関連性では、遠距離からの来場者ほど「出演者がよかったから」が、近距離からの来場者ほど「近かったから」が高い傾向がみられる。また会員内容と鑑賞理由の関連性をみると、クラシック会員（有料）ではベーシック会員（無料）と比較して「料金が手ごろだったから」「文化芸術に触れたかったから」の割合が高く、ベーシック会員（無料）ではクラシック会員（有料）と比較して「出演者がよかったから」の割合が高かった。

### 関心のあるジャンル

今後聴きたい／観たいジャンルは高い順に「クラシック」87.1%、「ジャズ」34.8%、「演劇・ミュージカル」22.1%と続いた。年代別でみると、年代が高いほど「クラシック」の割合が高い傾向がみられる。また「クラシック」の詳細内訳は高い順に「ピアノ」52%、「弦楽器」46%、「室内楽」44%と続いた。年代別でみると、いずれの年代でも「ピアノ」の割合が高く、「室内楽」は年代が上がるほど割合も高い傾向、一方「管楽器」は10代が最も高く、年代が上がるにつれて割合が下がる傾向がみられる。

### 公演の満足度

企画の満足度（「とても満足」＋「満足」）は96.6%と高い評価を得ることが出来た。特に20代では満足度100%に達し、若年層からも高い評価を得ていることがわかる。企画内容に対するアンケートの声では「よくぞ今回の企画を実現してくれました。

これからも心ゆさぶるコンサートを計画して下さい」「このようなお安い料金で超一流の方の演奏が拝聴できてとても有難く思っております」「質の高い音楽に身近な場で触れられるのは本当にありがたいです」など、企画内容に対して評価するコメントを多く得られた。また「楽器の響がホールによくマッチして心地よい時間でした」「ホールは音が美しく、席も楽で、とても気に入りました」「舞台と客席がほどよく近く、とても臨場感があり迫力もあって良かった。名古屋の大きなホールにはない良さがある」などホールの響きと施設に対する評価や、「職員の方々がとてもいねいで好感がもてました」「途中子供がトイレに行きたくなった時、スタッフの方々が笑顔で対応してくださり安心しました」などスタッフに対するお褒めの言葉も多くいただいた。総合して企画の満足度に繋がっていると考えられる。

## 利用者アンケート

施設の貸出し業務に関する利用者の満足度やニーズを把握することを目的に、今年度もコンサートホール、リハーサル室、集会室の利用者を対象に1年間アンケートを実施し、183件回収した。アンケートに記載されたコメントについては、回収時に確認し、改善に取り組んだ。

施設利用者の年代は40代～50代が最も多く、利用者全体の51.4%と半分以上を占めた。また前年度は10代の利用が全体の12.3%であったが、今年度は2.2%と減少した。その代わり60代～70代の利用が前年度15.4%であるのに対し、今年度は23.5%と増加した。コロナ禍で利用を控えていた60代以上の利用者が、活動を再開したと考えられる。

住まいは例年と同じく岡崎市内が多く、6割以上を占めている。来館手段も昨年と同じくマイカーが8割超える結果となった。また電車での来館は昨年より3ポイント増加し、来館者の約1割は電車で来館していることが分かった。シビックセンターを選んだ理由では、例年と同様「立地がよい」「無料駐車場がある」といった施設の立地や設備などハード面を気に入っていただいていると共に「スタッフの対応が良い」といったソフト面も例年同様高い評価をいただいている。また、フリーコメント欄やコンサートホール利用者から、ホールの響きが良いとのご意見を多数いただいております、このこともシビックセンターのコンサートホールが多くのお客様に支持されている要因と考えられる。

利用目的としては、講演会・会議・研修が昨年33件であったのに対し、今年は56件と増加した。まだまだコロナ禍前の水準とはいかないが、対面での催しが少しずつ戻ってきている印象である。

予約方法及び貸出方法に関しては「使いやすい」「とても使いやすい」を合わせて84.7%と、例年同様に高い数値を維持することができている。また、「使いにくい」と回答したコンサートホール利用者より、「本番料金とリハーサル料金の違いをはっきり明記して欲しい」とのご意見を頂戴した。コンサートホールの利用料金の設定に関しては、それぞれの料金での利用可能範囲を施設利用案内に分かりやすく明記し改善した。

フリーコメント欄には、「ピアノの音が良い」「音響が良い」といったご意見と共に、

「コロネットで練習をすると良い結果が出る」や「本選前のゲン担ぎ的に利用している」といったようなコメントもあった。

開館して20年を経過したが、ホールの響きの良さは利用者に認知されており、継続利用者が多い。引続き、ハード、ソフト共に利用者に支持される施設を目指していきたい。

## 友の会会員調査

今年度はシビコロ会員（有料会員/無料会員）の満足度とニーズを探り、シビックセンターの真のファンを強化するため、有料会員であるクラシック会員を増やすことを目標にアンケートを実施した。アンケートの実施方法はベーシック会員はWEBのみ、クラシック会員は郵送もしくはWEBでの回答をお願いした。また、アンケート内容は入会理由、1年間のチケット購入枚数、特典の利用状況、及びフリーコメントをいただいた。

会員は50代～70代が多く全体の85%を占めた。その中でも60代が32.4%で最も高かった。また居住地は岡崎市内が圧倒的に多く、全体の75.1%となっている。

クラシック会員の入会理由は、「確実にチケットを手に入れたいから」が最も多く、一般発売の2週間前からの先行発売にメリットを感じている。また次に多いのは、「チケットが10%引きになるから」となっている。また、購入回数も年に3回以上が全体の64.7%と高く、クラシックファンであると同時にシビックセンターのファンであることが伺える。

一方ベーシック会員の方がクラシック会員に入会しない理由は、「年会費がかかるから」が半数以上の50.3%、次いで「ベーシック会員の先行予約で満足しているから」が48.4%とクラシック会員の認知はあるものの入会に至っていない。更に年間のチケット購入回数は0回が一番多く全体の30.1%、一方で3回以上と回答した方も17.6%いた。公演情報に関しては、「情報誌の郵送」に対して評価が高いが、一方で有料・無料会員共、SNSの発達によりWEBだけでも良いとのフリーアンサーもある。経費負担の多い情報誌の見直しと、クラシック会員の更なる特典の魅力向上（ベーシック会員との差別化）を検討していきたい。

## 5 その他自己評価

### (1) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

施設利用者のニーズ把握に関して、本年度もコンサートホールと諸室利用者に対して利用者アンケートを実施した。調査期間は4月から3月末とし、183件（前年度155件）の回答をいただいた。また、受付窓口においてはアンケート回収時や施設利用の問い合わせ時のお客様とのコミュニケーションを大切にしたい。更にいただいたお声は、改善できるところから優先順位をつけ改善した。主な改善内容は、券売において先行予約時にはWEBのみのご予約であったが、窓口及び電話での受付を可能にした。また、非接触という観点と利便性においては、チケット販売、及び友の会の更新にWEB決済を導入した。

更にコロナを経てお客様の貸館に対するニーズにも変化が見られており、そのニーズに合わせたサービスや営業促進につながる活動を実施した。引続きお客様のニーズの把握につとめ、利用者にとって更に使いやすい施設の運営に繋げていきたい。

## **(2) 苦情対応等に対する自己評価**

本年度も継続して日々の「安心安全な運営」と、ご指摘発生時には「迅速かつ誠実な対応」を心がけた。ご指摘内容は速やかに岡崎市に報告すると共に、必要に応じて協議を行い改善に繋げた。日々のお客様対応をマネージャーが日報も活用しながらしっかり把握し、ご指摘対応のみならず、ご意見やご要望にも可能な限り対応した。

## **(3) その他**

### **人材育成**

本年度も指定管理の安定運営とサービス向上を目指し職員の人材育成に取り組んだ。JVの合同研修のほか、共同事業体各社においても実務、及びサービス・マナー向上に向けて、計画的な人材育成を実施した。

JV共通のものとしては、「災害時の対応」をテーマにした。災害マニュアルの改訂を行ったことに伴い、7月に「災害時の対応の基本」として、そのポイントを全員で確認すると共に、3社縦割りのグループで日常業務における災害時のリスクの共有を行った。更に上記を基に11月12月と複数回に分けて、JV内でチームを組み、機材やインカムを使いながら、有事の際の実際の動きの確認を行った。

各社独自の研修においては、集合研修のみならず、オンラインを活用した研修やeラーニングも積極的に取り入れて実施した。

今後も各業務の専門性を高める研修を継続し各部門の安定運営を図り、シビックセンター全体のスキルアップを目指したい。

### **消防訓練、防災関連事業の実施**

消防計画のとおり、本年も年2回の消防訓練を実施した。9月には合同庁舎とシビックセンターの合同で実施した。3月にはテナントも含めたシビックセンター全体での訓練を行い、消火器・消火栓の使用方法に関する訓練を行った。

9月には防災関連事業として「避難訓練コンサート」を実施した。事前にはがきで参加者を募集し、102名の参加者を得られた。災害対応マニュアルを見直したタイミングでの実施となり、地震発生時の誘導や安全確認をJVの連携を密に行いより実践的な内容となった。また、岡崎警察署の担当者からも災害発生時の留意点のお話もいただいた。参加者からは「(ホールの)避難訓練は初めてだったのでよい経験になりました。」「今後も同様の企画をよろしくお願いします。」等のコメントが寄せられ、公共施設として地域住民の災害時の対応力向上に寄与できたと考える。

### **感染症に対する対応**

施設や設備の念入りな清掃はもちろんのこと、コンサート開催時の運営方法や、換気・手指消毒等の安全対策の徹底、職員のコロナ感染症防止策など、利用者に安心して利用

していただけるよう感染症対策を実施した。コンサートのアンケートでは、感染症対応に対するコメントもいただき、来場者に安心してご利用いただけたと考えている。

以上